

# 企画部自治振興課

## 企画部市民参画課

### 1 米子市自治連合会

#### (1) 定例総会

5月17日 米子市福祉保健総合センターで開催した。新役員は、次のとおり。

会 長	平 野 昭 二 (就 将)
副 会 長	細 川 和 郎 (義 方)
”	福 原 重 夫 (福米西)
”	山 崎 光 二 (和 田)
”	藤 井 那 庶 (永 江)
会 計	藤 井 那 庶 (永 江)
監 事	長 廻 幸 雄 (義 方)
”	生 田 眞 人 (福米東)

#### (2) 会 議

正副会長会	7回
常任委員会	8回
編集委員会	4回

米子市自治連合会創立50周年記念事業実施検討委員会 3回

#### (3) 研 修

##### ア 先進地視察研修

11月19日から11月20日まで、常任委員による広島県東広島市への視察研修を実施した。

##### イ 常任委員研修会

常任委員研修会を次のとおり実施した。

- ・ 10月20日 「中国電力島根原子力発電所」の施設見学を実施した。
- ・ 2月24日 鳥取市で開催された「これからの住民自治を考える講演会」に参加した。

##### ウ 町区会長研修会

2月29日に米子市役所で開催された「米子市・淀江町合併住民説明会」に自治会長研修会として121名の自治会長が出席した。

#### (4) 連合会報の発行

9月1日及び3月20日に、連合会報「自治連よなご」を発行し、全世帯に配布した。

#### (5) 鳥取県自治会連合会総会

6月27日に鳥取市で開催され、正副会長が出席した。

#### (6) 平成15年度全国自治会連合会大会

11月3日に東京都で開催され、副会長が出席した。

#### (7) 永年勤続役員表彰

自治会永年勤続役員(会長・副会長・部長・班長・監事) 99人に対し、1月に市長から感謝状と

記念品が贈呈された。

## 2 地縁団体認可状況

申請に基づき、次のとおり地縁団体の認可を行った。

自治会名	認可年月日
河崎グリーンハイツ自治会	平成15年4月18日
福市9区自治会	平成15年7月9日

平成16年3月31日現在の認可地縁団体の総数は、48団体である。

## 3 米子市防犯協議会

### (1) 定例総会

7月30日、明道公民館研修室で開催した。新役員は、次のとおり。

会 長 平 野 昭 二 (米子市自治連合会長)  
 副 会 長 小 原 莊 七 (米子市学校校外指導連絡協議会長)  
 " 塚 田 喜 美 (米子市社会福祉協議会長)  
 " 藤 井 那 庶 (米子市自治連合会副会長)

### (2) 防犯灯設置及び防犯灯電灯料への助成

各自治会防犯灯の設置について、蛍光灯による新設109灯、白熱灯から蛍光灯への切替え2灯及び器具の取替え99灯に対し助成を行った。また、防犯灯電灯料(50%)についても助成を行った。

### (3) 防犯思想の普及

暴力追放、青少年非行防止等の啓発チラシの全戸配布(3月)等を実施し、防犯思想の普及を図った。

## 4 コミュニティ施設等整備

米子市コミュニティ施設整備費補助金 8件 22,119,603円  
 自治総合センター宝くじ助成事業 1件 2,500,000円

## 5 相談所の開設

各行政機関等の相談部門及び各種相談員と合同で相談所を開設する。

### ア 合同相談所

開設年月日	場 所	参 加 機 関
平成15年10月10日	米子市役所401会議室	鳥取行政監察事務所、鳥取地方法務局米子支局、米子市、米子税務署、米子市社会福祉協議会、
1 回		人権擁護委員、行政相談委員、鳥取県、鳥取県弁護士会

### イ 人権・行政相談

開設年月日	場 所	参 加 機 関
36 回	米子市役所会議室 (203,402) 米子市総合研修センター	米子市、人権擁護委員、行政相談委員

## 6 消費者行政関係

### (1) 総合調整

- ・米子市消費生活審議会の開催 1回
- ・米子市消費生活苦情処理検討部会の開催 4回

### (2) 主体性のある消費者の育成

#### ア 情報提供

- ・消費生活情報検索サービス パソコン2台設置
- ・市民ホールの掲示板(常設)
- ・電光掲示板
- ・テレビ放送(中海テレビ)

### (3) 消費者被害の救済

- ・消費生活相談件数 2,682件(苦情 2,011件 問合せ・要望 671件)

## 7 男女共同参画推進事業

### (1) 男女共同参画センターの運営状況

女性団体の活動に資するため、男女共同参画センターを運営した。

場所：米子駅前サティ4階(米子市末広町58番地)

15年度末利用登録団体 56団体

### (2) 女性リーダーの育成

下記の会議派遣及び関連機関との交流を行った。

- ・女性リーダー研修 3名 H15.9/12、9/26、10/17、12/6 倉吉市
- ・イーブくらしきネットワーク(岡山県倉敷市男女共同参画推進センター登録団体)との交流会 H15.9/9

### (3) 米子市男女共同参画推進審議会の開催

- ・開催日 平成16年3月5日
- ・場所 米子市役所第2応接室

### (4) 交流室まつりの開催

女性団体の日頃の活動の発表及び各団体同士の交流の場を設けた。

- ・開催日 平成16年2月28、29日
- ・場所 男女共同参画センター及び市民交流広場

## 8 広報関係

### (1) 視覚広報

ア 「広報よなご」を12回(871平成15年4月1日号～882平成16年3月1日号)発行し、全世帯に配布した。

イ 次の印刷物を「広報よなご」と同時に配布した。

- |            |     |          |
|------------|-----|----------|
| 「県政だより」    | 12回 | 鳥取県発行    |
| 「米子市議会だより」 | 4回  | 市議会事務局発行 |
| 「よなごの国保」   | 3回  | 保険課発行    |
| 「心ゆたかに」    | 3回  | 人権政策課発行  |
| 「国民年金特集号」  | 1回  | 市民課発行    |

- 「米子市・淀江町合併協議会新市将来構想（案）」 1回 企画課発行
- 「平成15年度からの介護保険料が決まりました」 1回 長寿社会課発行

ウ 市の広報記事を新聞に掲載した。

- 新日本海新聞 8回
- 山陰中央新報 3回

(2) 聴覚広報

テレホンサービスを実施した。  
利用度数は次のとおり。

名 称	電 話 番 号	利 用 度 数
文 化 だ よ り	2 2 - 4 7 5 1	4 4 回
児 童 文 化 セ ン タ ー だ よ り	2 2 - 4 7 5 7	1 2 6 回

(3) 視聴覚広報

「TVスポット」放送  
一般広報分 週3回放送（15秒/回） 山陰放送

(4) パブリシティ活動

市長の定例会見を行い、積極的な資料提供を行った。平成16年3月現在の米子市政記者会加盟社は、次の14社。

日本海テレビ放送米子支社、山陰放送、読売新聞社米子支局、テレビ朝日米子支局、毎日新聞社米子支局、朝日新聞社米子支局、新日本海新聞社西部本社、産経新聞米子通信部、NHK米子支局、時事通信社米子支局、山陰中央新報社米子総局、共同通信社米子通信部、山陰中央テレビ放送米子支社、中海テレビ

(5) スクラップの分類

6紙（読売、毎日、朝日、新日本海、産経、山陰中央）を切り抜きし、日付順に整理した。

(6) 米子市ホームページの運営

誰にでも利用できるホームページにするため、平成16年2月に「米子市ホームページアクセシビリティ指針」を策定し、身体に障害のある人、高齢者、パソコンの操作に不慣れな人にも使いやすく、また、パソコンの違いに左右されないホームページ作りを推進した。

9 広聴関係

(1) 「市の施設を見る会」を5回開催した。内容は次のとおり。

- 参加人員 5団体 107人
- 見学施設 米子市クリーンセンター、リサイクルプラザ、内浜処理場等

(2) 出張施策説明「ふれあい説明会」

市民のもとにのびて出張して説明を行う「ふれあい説明会」を実施した。  
平成15年度実績 10件

(3) 市政提案箱設置事業

ア 実施方法

市庁舎玄関、図書館、文化ホール、児童文化センター、行政窓口サービスセンター、ふれあいの里と各公民館（26館）に提案箱を設置して、提案を受け付けた。

また、ファクシミリ、郵送、電子メールによる提案も受け付けた。

イ 市政提案箱の状況

平成15年4月1日から平成16年3月31日までの1年間に寄せられた提案件数は223件であり、その提案状況は次のとおりである。

(ア) 内容別提案件数

内 容	区 分	提 案	苦 情	照 会	計 (件)
行 政	一 般	75	30	5	110
生 活	・ 環 境 関 係	18	2	1	21
福 祉	・ 保 険 ・ 医 療 関 係	12	7	4	23
商 工	・ 観 光 関 係	15	4	0	19
土 木	関 係	20	4	2	26
教 育	・ ス ポ ー ツ ・ 文 化 関 係	16	6	2	24
合 計		156	53	14	223

(イ) 提案方法

投 函	郵 送	ファクシミリ	電子メール	市長へひとこと	合計 (件)
73	35	3	59	53	223

(ウ) 提案箱設置場所と投函件数

設 置 場 所	件 数	設 置 場 所	件 数
市 庁 舎 玄 関	66	行政窓口サービスセンター	1
図 書 館	3	ふ れ あ い の 里	1
文 化 ホ ー ル	1	公 民 館	1
児 童 文 化 セ ン タ ー	0	合 計	73

10 交通安全対策関係

(1) 交通安全運動 米子市交通安全運動推進協議会の主唱により実施した。

名称	期 間	主 な 実 施 事 業
春の 全国 交通安全 運動	5月11日 ～ 5月20日	米子地区合同推進式(市役所) 米子警察署管内市町村合同 交差点での安全確認励行作戦(市内主要交差点) 違反自転車イエローカード作戦及び反射材広報(えるもーる、サティ) 主に高校生を対象に自転車のマナーアップ広報及び指導 高齢者交通安全教室(明道地区) 幼児交通安全教室(良善幼稚園、小鳩保育園)
夏の 全 民 交 通 運 動	7月9日 ～ 7月18日	交通マナーアップドライバー広報(公会堂周辺) 飲酒運転追放体験教室(米子自動車学校) 飲酒した状態での運転適性検査等により、飲酒運転の危険性を体験

		交通安全教室（和田地区） 幼児交通安全教室（富益保育園） シートベルト着用率調査（各地区）
秋の全国交通安全運動	9月21日 ～ 9月30日	交通安全ふれあい大会（公会堂） 米子警察署管内市町村合同 薄暮時の前照灯早期点灯自動車広報 チャイルドシート講習会（東保育園） 飲酒運転追放広報（角盤町・朝日町周辺） （飲食店で啓発物品配布を行い、飲酒運転の追放を呼び掛け） 違法駐車防止街頭広報（角盤町通り） ピカピカセーフティウォーク 参加者が反射材を身に付けて市街地をパレードし、着用を呼び掛け
年末の交通安全県民運動	12月16日 ～ 12月25日	夜間の交通事故防止交通安全教室（和田地区） 交差点イエローストップ広報・イエローストップのぼり旗広報 「黄色信号で止まりましょう」と運転マナーアップを呼び掛けた 幼児交通安全教室（崎津保育園） シートベルト・チャイルドシート着用ドライバー広報（福市） 主要路線及び交差点での、のぼり旗による広報

## (2) 交通安全活動の推進

### ア 高齢者交通事故防止推進重点地区の指定

鳥取県交通対策協議会会長が指定し、高齢者の交通事故の減少を図るため、関係機関、団体、地区の住民が一体となって対策を推進した。

指定地区：和田地区

### イ 米子市交通安全指導員の委嘱と活動推進

(ア) 人数 68人（平成16年3月31日現在）

(イ) 登校時における児童・園児の通行の保護、誘導。交通安全運動（年4回）の推進。

がいな祭、皆生トリアスロン大会等での交通安全確保の協力。

### ウ 米子市交通安全母の会の活動推進

市内26地区の母の会の活動を助成。交通安全運動（年4回）の推進。女性ドライバー安全運転学校、マイカー点検教室などに参加。機関紙「ふれあい」の発行。

## (3) 交通安全教育の推進

### ア 高齢者の夜間事故防止交通安全体験教室の開催（米子自動車学校）

平成15年12月16日 受講者 22人

### イ 交通安全作文の募集

市内の小・中学生を対象に、交通安全に関する作文を募集した。

応募者数 361人（小学生 83人、中学生 278人）

入選者10人を表彰し、広報よなご10月号に入選作のうち1作を掲載した。

環境美化・交通安全作文集を作成し、小・中学校、関係者に配布した。

### ウ 広報よなご・電光掲示板による広報啓発

広報よなご12月号に交通安全特集記事を掲載したほか、電光掲示板などを利用して市民の交通安

全意識の高揚を図った。

(4) 広域的な交通安全対策の推進

米子地区交通安全対策連絡協議会を通じ、米子地区2003セーフティー作戦、シートベルト&チャイルドシート着用徹底キャンペーン、みんなで着きよいや反射材キャンペーンの実施など、米子警察署管内の7市町村が連携をもった広報啓発活動を実施した。

1.1 交通災害共済関係

(1) 加入状況

区 分	加 入 人 数 (人)	加 入 口 数 (口)
一 般 受 付	2,291	3,923
団 体 受 付	13,533	14,570
計	15,824	18,493

(2) 給付状況

区 分	事 故 件 数 (人)	給 付 金 額 (円)
死 亡	1	3,000,000
療 養	60	5,008,000
計	61	8,008,000

(3) 掛金の扶助

生活保護世帯の園児・児童・生徒に対し掛金の扶助を行った。

(一人 1,000円)

86人 86,000円

1.2 国際交流事業

(1) 友好都市中国保定市

ア 保定市・重症急性呼吸器症候群(SARS)被害見舞金

中国から世界的に蔓延した重症急性呼吸器症候群(SARS)は、友好都市である保定市にも影響を及ぼし、30人以上の感染者が発生し、死者が出るなど甚大な被害を生じた。このため平成15年6月17日、見舞金30万円を贈り、保定市のSARS対策に対する支援を行った。

(2) 姉妹都市韓国束草市

ア 職員相互派遣事業

米子市、束草市それぞれ相互に職員を派遣し、互いに地方行政機構等について研修を実施した。

米子市派遣職員：船場 千穂 研修場所：束草市企画監査室国際協力係

派遣期間：平成15年6月1日～8月31日

米子市派遣職員：鶴籠 博紀 研修場所：束草市企画監査室国際協力係

派遣期間：平成15年9月21日～12月20日

束草市派遣職員：辛 明 姫 研修場所：米子市自治振興課国際交流室

受入期間：平成15年6月1日～11月30日

イ 米子市訪韓団派遣

(ア) 米子市派遣職員事前視察訪韓団派遣(5人)

期間：平成15年5月8日～10日

米子市派遣職員と担当者が束草市を訪れ、生活環境等の事前視察を行うと共に今後の交流事業について担当者間で事前協議を行った。

(4) 束草市昇格40周年記念行事訪韓団派遣(14人)

期間：平成15年10月1日～4日

束草市昇格40周年記念行事に市長を団長とする訪韓団を派遣し、記念式典等に参加すると共に行政関係者と交流を深めた。また、合わせて、公演団(箏舞 峰松流 峰松会)10人を派遣し、記念行事で日本舞踊を披露するなど文化交流を図った。

(5) 次年度定期交流協議団派遣(3人)

期間：平成15年12月4日～6日

企画部長を代表とする訪韓団3人を派遣し、束草市企画監査室長などと次年度定期交流協議を行い、今後の交流事業について担当者間で事務協議を行った。

ウ 束草市訪日団受入

(7) 束草市派遣職員事前視察訪日団受入(3人)

期間：平成15年4月7日～10日

束草市派遣職員と担当者が本市を訪れ生活環境の事前視察を行うと共に、今後の交流事業について束草市企画監査室長などと事務協議を行った。

(4) 米子がいな祭30周年記念「束草文化院婦人民俗公演団」受入(11人)

期間：平成15年7月31日～8月4日

団長：束草市住民自治課長 釜 釜 釜 釜 釜

束草市住民自治課長を団長とする米子がいな祭30周年記念束草文化院婦人民俗公演団「ドゥドゥリペ」を受入れ、米子がいな祭に参加・出演し、文化交流を図った。

(5) 東山中学校姉妹校交流訪日団受入(14人)

期間：平成16年1月15日～19日

束草女子中学校生徒(11人)が姉妹校の東山中学校を訪れ、生徒宅にホームステイを実施するなど、両市中学校同士の交流を通じて相互理解を図った。

エ 米子市束草市民間交流促進

両市の交流を市民レベルに拡大し定着させていくため、民間グループの交流について連絡調整等の支援を行い、交流の発展に寄与した。

(7) 束草市卓球協会訪日(11人)

期間：平成15年5月26日～29日

束草市卓球協会が本市を訪問し、米子卓球協会と親善試合を行い、交流を深めた。

(4) 米子水鳥公園関係者訪韓(4人)

期間：平成15年11月4日～5日

米子水鳥公園友の会のメンバーらが束草市を訪問し、水鳥の飛来状況の調査を行うとともに、束草市の関係者と意見交換をし、交流を図った。

(5) 米子市委員会訪日(14人)

期間：平成15年12月4日～6日

束草市の民間交流団体の米子市委員会が本市を訪問し、鳥取県西部地区日韓親善協会総会に参加



すると共に、バドミントンやゲートボール交流などについて協議した。

(3) 国際交流員の雇用

JETプログラムによる国際交流員を雇用し、海外との連絡調整、翻訳、通訳等の業務を通じて、友好都市交流事業の円滑化を図った。また市内公民館、小中学校などで国際理解講座及び市民を対象とした韓国語講座、中国語講座を開催し、市民の国際意識の高揚を図った。

- ・国際交流員（韓国担当）：玄<sup>ヒョン</sup> 叔<sup>スッ</sup> 衡<sup>キョン</sup>
- ・国際交流員（中国担当）：趙<sup>チャオ</sup> 函<sup>ハン</sup> 宏<sup>ホン</sup>

(4) 友好都市児童画作品展

ア 国際児童美術交流展

期間：平成15年6月7日～14日

会場：束草文化会館

米子市を始めとする束草市国内外友好都市の児童画作品展が開催された。

(5) 地域国際化事業

ア 在住外国人及び地域国際化相談業務

来庁、電話等で寄せられる市内在住外国人の日常生活、言葉等に関する問題及び一般市民からの地域国際化に関する問い合わせに対し、相談業務を行った。

イ 国際理解講座開催の促進

鳥取県の協力により市内の小学生（3年～6年）を対象に、韓国語を中心とした「国際理解講座」を開催し、小学生の国際意識啓発に寄与した。

期間：平成15年5月～9月の土曜日に計10回

会場：明道公民館

講師：鳥取県国際交流員 成<sup>ソン</sup> 聖<sup>ソン</sup> 恵<sup>ヘ</sup>

ウ ペらっとハングルスピーチコンテスト開催

鳥取県西部地区の住民を対象に、韓国・朝鮮語のスピーチコンテストを開催し、日頃の学習の成果を競いながら、情報交換をし、交流を図った。

日時：平成16年3月21日

会場：米子市総合研修センター 401研修室

発表者：14人

エ 民間交流支援

(ア) 韓国釜山東菜青年会議所市長表敬訪問

平成15年7月15日、米子青年会議所と友好交流を図っている釜山東菜青年会議所（10人）が米子市長を表敬し、両会議所の友好交流の促進を確認し合った。

(イ) 米子南ロータリークラブ研究グループ交換生市長表敬訪問

平成15年10月22日、国際ロータリークラブの研究グループ交換生（5人）が米子市長を表敬し、米子の医療や文化等について話し合い、友好を深め合った。

(ウ) 日本中国文化交流協会中国出版代表团市長表敬訪問

平成15年11月10日、日本中国文化交流協会中国出版代表团（6人）が米子市長を表敬し、日中両国間の友好と文化交流を促進することを確認し合った。

(エ) 韓国江原道観光関係者実務協議団市長表敬訪問

平成15年12月18日、江原道観光関係者実務協議団(11人)が米子市長を表敬し、本市と江原道との間における観光客の誘致方策について協議した。

(オ) 米子中央ライオンズクラブ青少年交換留学生市長表敬訪問

平成15年12月22日、米子中央ライオンズクラブの青少年交換留学生(1人)が米子市長を表敬し、米子とオーストラリアの情報交換を行い、交流を深めた。

(カ) 保定市代表訪日団市長表敬訪問

平成16年2月17日、米子商工会議所が招請した保定市代表訪日団(3人)が米子市長を表敬し、本市と保定市との今後の友好都市交流について協議し、友好を深めた。

オ 市民ボランティア育成事業

市内在住外国人の生活支援を目的とする市民ボランティア団体米子国際交流協会の活動に対し支援を行い、外国人にとって住みやすいまちづくりと草の根交流の促進を図った。

(ア) 情報誌の作成と配布及びホームページ公開

外国人向け情報誌「エコー」年1回発行No.31号(日本語/英語版各100部)

日本人向け情報誌「国際交流ニュース」年3回発行(150部)

国際交流協会作成のホームページへのアクセス 年間1,671件(総数6,777件)

(イ) 各種交流事業の開催

- ・米子がいな祭交流会及びやんちゃばやし参加

日時：平成15年8月2日 場所：明道公民館 参加者：約100人

- ・夏の交流会(野外レクリエーション活動)

日時：平成15年8月31日 場所：皆生海浜公園 参加者：約120人

- ・冬の交流会

日時：平成15年12月14日 場所：大和会館 参加者：約90人

市内在住外国人と市民及び民間交流団体が一堂に会して交流を深めた。

- ・第9回国際井戸端会議

日時：平成16年3月7日 場所：ふれあいの里 参加者：約20人

境高等学校のマーシャ・デニー英語指導助手に、ジャマイカの伝統的な踊りなどの話を聞き、文化交流を図った。

- ・料理教室の開催(3回)

日時：平成15年6月8日 場所：明道公民館 参加者：30人

ピザ料理を紹介し、市民交流を行った。

日時：平成15年11月30日 場所：明道公民館 参加者：30人

中国料理(水ぎょうざ)を紹介し、市民交流を行った。

日時：平成16年2月22日 場所：福生東公民館 参加者：38人

市内在住外国人を対象に、そば打ち教室を行い、市民交流を行った。

13 ふるさとづくり1億円事業

「ふるさとづくり」の基本となるのは「ひとづくり」であるという視点に立ち設置された「ふるさとづくり基金」の運営利子を財源として、事業を実施したが、低金利のため、基金を取り崩し財源とした。

(取崩額 1,216,482円、実績運用利子 83,518円)

(1) 青少年海外研修事業実施状況

氏 名	行 先	日 程
三 好 百 子	オーストラリア、ニュージーランド	29日間
森山 直樹、若原 博史	オーストラリア	9日間
合 計	3 人(2 組)	